

ファミリースリーズ “自動みずとめ”

ホテル用定量止水付サーモスタット
シャワーバス金具・混合栓

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

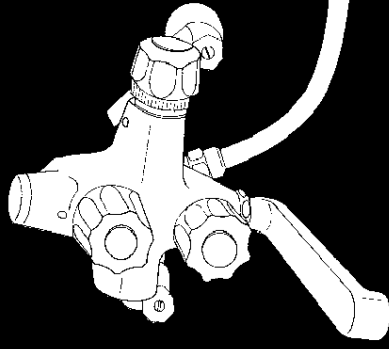
受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

TOTO

ご愛用のしおり

■ このたびは、**TOTO**ホテル用定量止水付サーモスタットシャワーバス金具・混合栓をお求めいただきました。ここにありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ このしおりは、大切に保存しておいてください。



もくじ

安全上の注意	1～2
特長・各部のなまえ	3
各ハンドルの役目	4
つかいかた	5～7
使用上の注意	8～10
最大設定量の調節のしかた	11～12
温度調節のしかた	13
凍結予防のしかた	14
手入れのしかた	14
ストレーナーの掃除	14
故障したときは	15～16

安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性がありますを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

⚠ 注意

- (1)シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (2)お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。
カラン吐水とシャワー吐水を間違えると、やけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (3)水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。
- (4)熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。
直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。(カラン付)
- (5)使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40°C以下に戻しておいてください。
次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。

(6)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。
次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

(7)ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

(8)温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、温度調節ハンドルはゆっくり回してください。
やけどをするおそれがあります。

(9)シャワー使用後は、切替ハンドルを必ずカラン側に切替えてください。
切替ハンドルがシャワー側になっているのを気が付かずに湯を出すと、やけどをするおそれがあります。(切替弁付)

(10)凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

(11)ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。
漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

特長・各部のなまえ

1. 希望湯量を設定すれば今までのように浴槽に湯をためる間、いちいち湯量を気にする必要がありません。
2. 浴槽の大きさに合わせて必要とする湯量以上吐水しないよう最大設定量の調節ができます。
3. 湯をあふれさせない心配がありませんので節水省エネに役立ちます。
4. 湯量の制御は時間でなく、実際に流れる湯の量で制御する機構のため、水圧の変動で湯量が変わることがほとんどありません。
5. サーモスタット付ですので使用中に給水・給湯圧力が変わっても混合水の温度をほぼ一定に自動調整します。
6. 温度調節ハンドルの操作ひとつで希望みの温度に変えられます。
7. 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので誤って熱湯を出すことはありません。
8. 自動バルブは緩閉止機構を採用し、ウォータハンマを防止しています。
9. 内部機構はカートリッジ式になっていきますので、万一故障しても取り替えは簡単です。
10. 寒冷地用の場合は器具内の水抜きができる水抜コックを設けています。

<p>【一般用】 TM545CGG TM545CCGM (マッサー・ジェットシャワー付)</p> <p>【寒冷地用】 TM545CCGZ TM545CCGMZ (マッサー・ジェットシャワー付)</p> <p>TM545CGGHZ TM545CCGMHZ (マッサー・ジェットシャワー付)</p>	<p>(シャワーバス金具)</p>	<table border="1"> <tr> <th>付属部品数</th> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ストレーナ開閉工具</td> <td>1</td> </tr> </table>	付属部品数	1	ストレーナ開閉工具	1
付属部品数	1					
ストレーナ開閉工具	1					
<p>【一般用】 TM545AG 【寒冷地用】 TM545AGZ</p>	<p>(混合栓)</p>					

各ハンドルの役割

1. 温度調節ハンドル

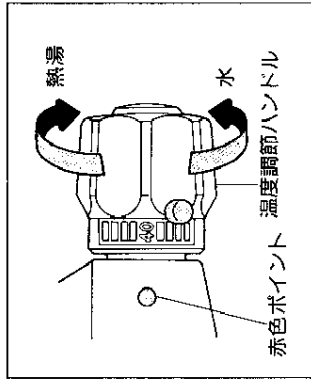
水と熱湯を混合させて温度の調節をします。なお、このハンドルでは、湯水を止めることはできません。
2. 設定ハンドル

カランの開閉ハンドルです。浴槽に湯をためるとき、希望湯量に目盛を設定すれば、吐水した後自動的に止水します。
3. シャワーハンドル……シャワーバス金具の場合のみ

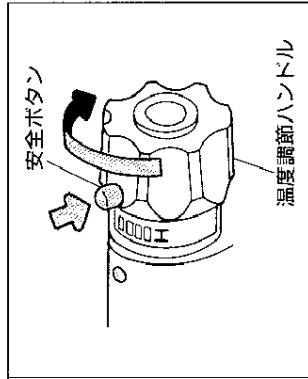
シャワーの開閉ハンドルです。

つかいかた

温度調節



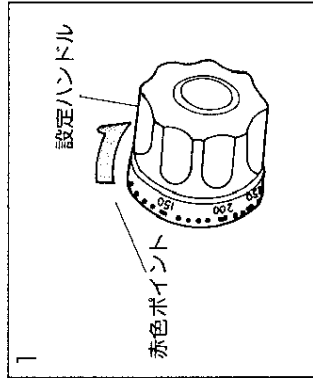
温度調節ハンドルを回してお望みの目盛を赤色ポイントに合わせてください。数字は湯温を示す目安としてください。



温度調節ハンドルには誤って熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。ハンドルは目盛「40」付近でロックされますのでこれより高温で吐水させたいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛「40」以下に戻しておいてください。

<設定ハンドル使用の場合>

◆自動で閉止させるとき

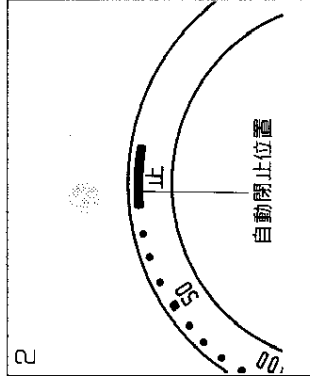
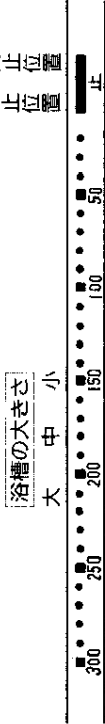


設定ハンドルを矢印方向に回すと力ランから水が出はじめます。希望の目盛を本体の赤色ポイントに合わせてください。120以下の目盛に設定するときは、一度120以上回してから戻して設定してください。

目盛の目安

ハンドルの数字がおよその湯量です。(例:150≒150ℓ)

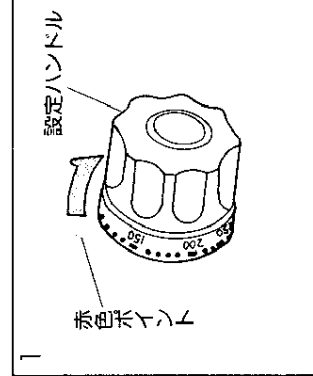
下図に設定位置の目安を示しますが、一度湯をためてみてお取付けの浴槽に合った湯量を確認してください。自動閉止位置と手動閉止位置には若干のスレがあります。



設定湯量を吐水したのち、図に示す位置で、自動的に止水します。

(注)水をためて風呂を沸かす場合は、必ず浴槽内の水量を確かめてください。

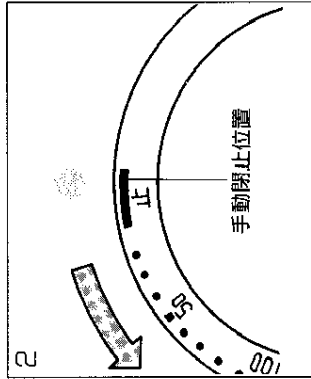
◆手動で閉止させるとき



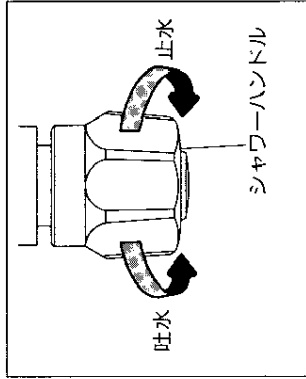
自動閉止の必要のないときは、設定ハンドルを矢印方向へ目盛120以上に回してください。

使用上の注意

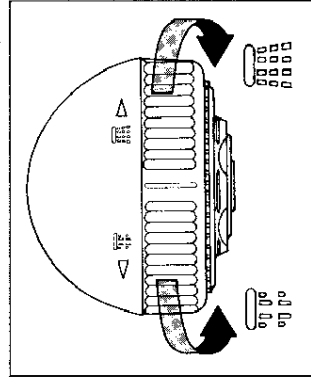
湯を止めるときは、設定ハンドルを止まるまで矢印方向へ回しててください。



〈シャワーハンドル使用の場合〉……シャワーバス金具の場合のみ
シャワーハンドルを左へ回すとシャワーから吐水し、左へ一杯に回すと流量が最大になります。
右へ一杯に回すと止水します。

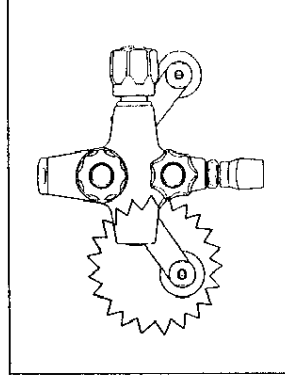


シャワー一切替え……(TM545CGM・TM545CGMZ・TM545CGMHZの場合のみ)
切替リングを左へ回すとマッサージ(断続)吐水し、右へ回すとシャワー(連続)吐水します。



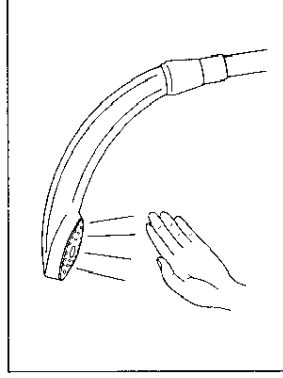
熱湯を使用しますので、火傷などの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

1. 火傷に注意すること



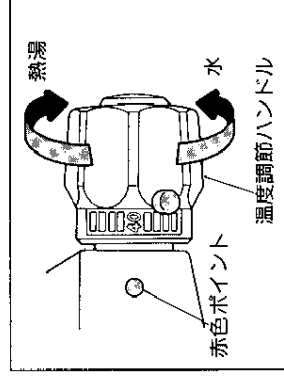
器具の左側は給湯側のため、高温になっています。金具の表面に直接肌をふれないようにご注意ください。また、高温で吐水させた後は、しばらく水を出し、高温の残水を流しておいてください。

2. 使用前に湯温を確かめる



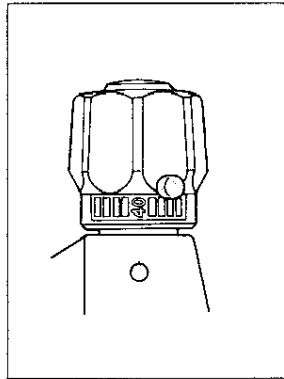
シャワーを使用する場合は、いったん手で湯温を確かめてください。

3. 温度調節ハンドルはゆっくり回す



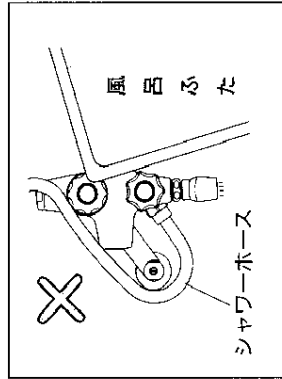
温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。急に回しますと温度が上がり過ぎる場合があります。

4. 温度調節ハンドルは“40”以下にする



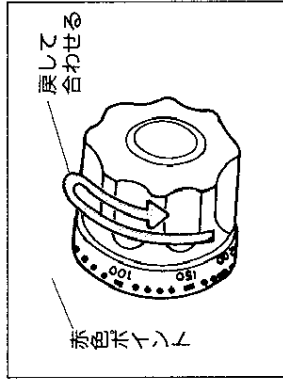
熱湯を使用した後は、必ず温度調節ハンドルを“40”以下に戻してください。
 (これは次に使うとき、いきなり熱湯を浴びないためです。)

5. 自動吐水時は設定ハンドルの自動回転を妨げないこと



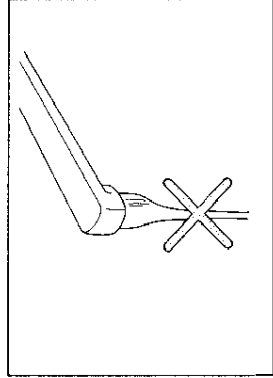
自動吐水時は設定ハンドルがゆっくりと自動回転しますので、その動きを妨げないようにしてください。動きを妨げると湯量が多くなったり自動止水しなくなります。(風呂ふた、シャワーホースなどが設定ハンドルにあたらないようにしてください。)

6. 120以下に設定するときは、120以上に回してから設定すること



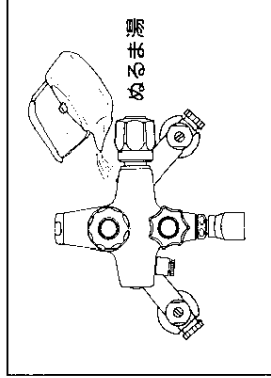
湯量を120以下に設定するときは、必ず設定ハンドルを120以上に回してから希望する目盛に戻してください。(そのまま120以下の目盛に合わせる場合、自動止水しません。)

7. 流量を極端に絞らないこと



流量は止水栓で調節できますが、余り極端に絞ると、精度が悪くなり自動止水しないことがありますので、目盛150(約150ℓ)のとき、少くとも30分以内で止水するぐらいの流量でご使用ください。

8. 凍結すると少しの間吐水しません(寒冷地用の場合)



凍結した場合、水抜きを行っていてもストレーナやギアの表面に付着した水滴が凍ることがあります。通水後吐水しない場合や設定ハンドルがたたくて回らない場合は、ぬるま湯であたためてください。

給湯機が瞬間型の場合

1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますのでハンドルはできるだけ全開で使用ください。
2. 給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は切替ハンドルで調節を行ってください。(切替ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水栓であらかじめ流量調節を行ってください。)
3. 混合水栓から吐水する温度より、10℃以上高い温水を供給するよう給湯機側の温度を設定してください。
4. 次の場合は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は、給湯機の設定温度(能力切替式の場合は能力)を少し下げてください。
 ・給水圧力が低いとき
 ・水温が高いとき

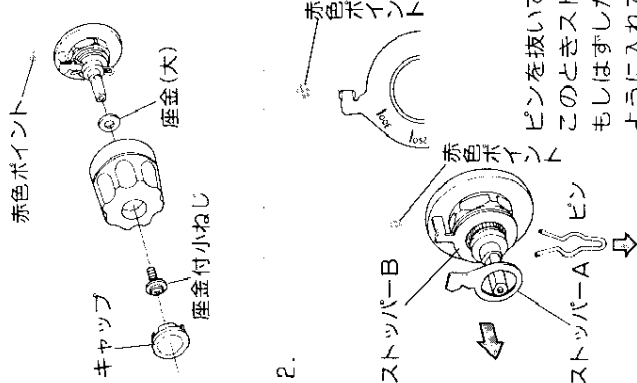
最大設定量の調節のしかた

この器具は目盛300(約300ℓ)まで設定できますが、浴槽の適量以上、設定ハンドルが回らないように最大設定量を調節することができます。

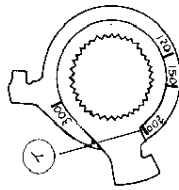
●調節する前に

- (a)浴槽の適量を調べる。設定ハンドルの目盛はおよその水量(ℓ)を示しますので、浴槽に水をためてみると適量がわかります。
- (b)水側・湯側止水栓を閉める。
- (c)設定ハンドルを目盛100に合わせる。

1. キャップ・小ねじ他をはずして設定ハンドルを取りはずしてください。

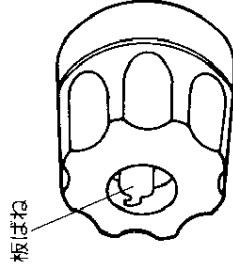


3. ストップパーBの数字はおよその湯量(ℓ)を示します。数字は50単位になっていますが10単位の設定が可能です。あらかじめ調べた適量の数字にストップパーAのイ面を合わせてください。下図は約200ℓに合わせたときを示します。ストップパーAを120以下にセットしないでください。



ピンを抜いて、ストップパーAをはずしてください。このときストップパーBははずさないでください。もしはずした場合は、赤色ポイントに対して図のように入れてください。

4. ストップパーのセットが終了したらピンを入れ、設定ハンドルの取りはずしと逆の手順で元の位置におさめてください。このとき、座金(大)を忘れずと設定ハンドルが回らなくなる場合がありますので注意してください。また、設定ハンドルをおさめるとき板ばねが出てくることがあります。そのときはドライバなどで元どおりに押し込んでください。



5. このページ下段に添付している適量ラベルを設定量の目盛の上到下図のように貼りつけてください。



適量ラベルを貼っておくとご使用になる方が容易に設定できます。貼るときは、ハンドル表面の汚れや水分をよくふきとってください。

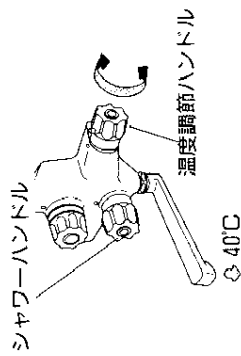


温度調節のしかた

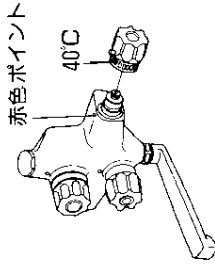
目盛通りのお湯が出なくなったりした場合、次の要領で温度調節をしてください。

- 調節する前に
 - (a)ストレーナーのごみつまりはないか確かめる。
 - (b)止水栓が全開しているか確かめる。
 - (c)十分な温度(使用する温度より10°C以上)のお湯がきているか確かめる。

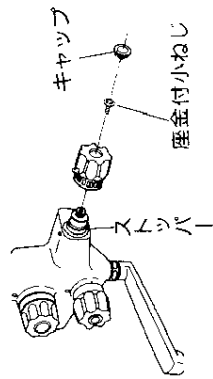
1. シャワーハンドルを開き、温度調節ハンドルの目盛に關係なく40°Cのお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。



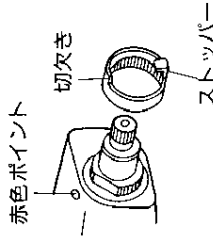
3. 温度調節ハンドルの“40”の文字と赤色ポイントを合わせてハンドルをはめ、小ねして固定しキャップをはめる。



2. 温度調節ハンドルが回らないよう注意してキャップ、小ねじをはずしてハンドルを抜きとる。



注) 温度調節ハンドルを抜きとるとき、ストッパーがはずれたら赤色ポイントに切欠きを合わせてはめてください。

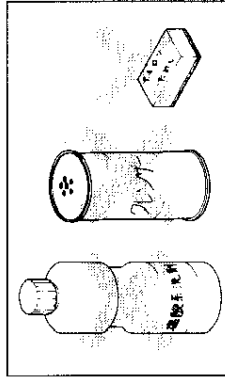


凍結予防のしかた

凍結のおそれがある場合は、同封の「水抜き方法」のラベルにしたがって器具内の水抜きをしてください。なお、ラベルは器具の近くに張りつけてください。

手入れのしかた

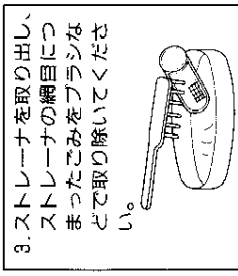
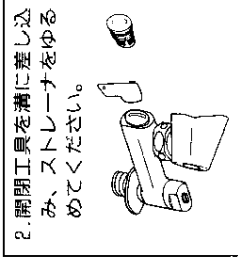
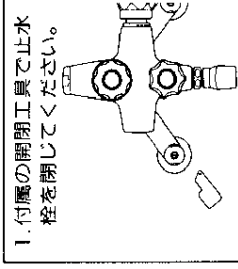
いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めっきされたところはときどきシンソ油やカーワックスなどをしませた布でみがいでください。ただし樹脂部(ハンドル)に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



クレンザー・みかき粉などや粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわしなどはめっき面を傷つけるので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。

ストレーナーの掃除

ストレーナーがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなると十分な機能が發揮されなくなりますのでときどき次の要領でストレーナーを掃除してください。



1. 付属の開閉工具で止水栓を開いてください。

2. 開閉工具を溝に差し込み、ストレーナーをゆるめてください。

3. ストレーナーを取り出し、ストレーナーの網目につまったごみをブラシなどで取り除いてください。

故障したときは

故障の修理は取付工事店にご依頼ください。なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

●修理を依頼される前に
簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に次の点検をしてください。

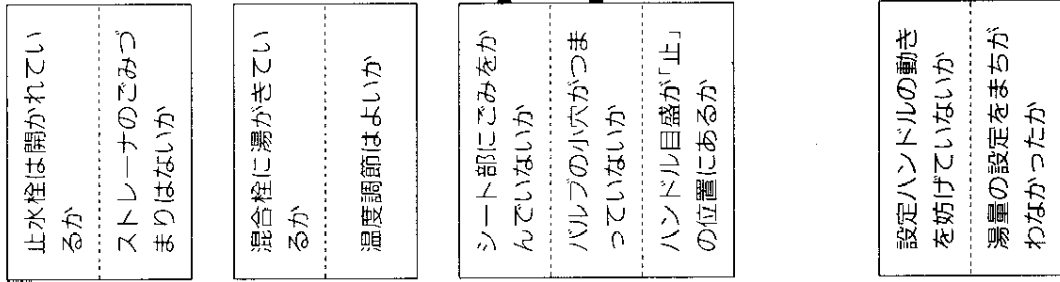
●故障内容

流量が少ない

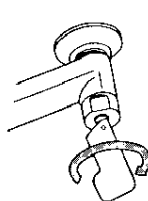
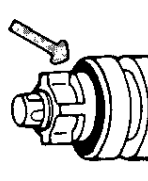
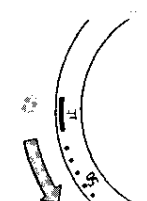
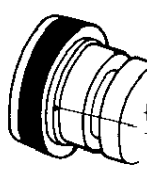
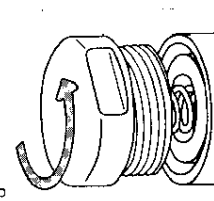
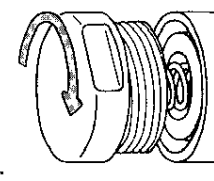
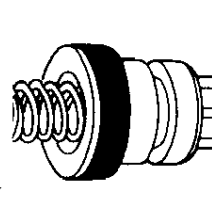
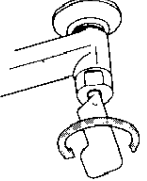
高温又は低温しか出ない
目盛とお湯の温度がちがう

湯水が止まらない

湯量が大きく狂う



→ 自動バルブの掃除のしかた

<p>1</p>  <p>水側・湯側の止 水栓を閉め、湯 水を止める。</p>	<p>5</p>  <p>シートパッキン にごみかみがないか 調べる。</p>
<p>2</p>  <p>設定ハンドルを 止まるまで矢印 方向へ回す。</p>	<p>6</p>  <p>小穴がつまって いたら細い針金 で掃除する。(荷 札の針金など)</p>
<p>3</p>  <p>バルブカバーを 開ける。(3ペー ジ参照)</p>	<p>7</p>  <p>バルブ部を元ど おりにおさめ、 バルブカバーを 閉める。</p>
<p>4</p>  <p>バルブ部を取り 出す。</p>	<p>8</p>  <p>水側・湯側の止 水栓を開く。</p>